

奈良市民だより

No. 92

人口・世帯

人口	160,229
男	77,617
女	82,612
世帯	41,876

(10月1日現在)

教育週間によせて

歳月があわただしく過ぎていって、やがて子供達の時代に移ってまいります。
 国のもとには大きく“人づくり”にかかっていますが、その人づくりのいろいろの要素の中で、
 教育は極めて重要な役割りを果しています。

教育のことは教職者だけのものではありません。

生徒達だけのものでもありません。

もちろん子供を学校に通わせている親たちのものだけでもありません。

教育の問題は国民全体の重大な関心事であります。

社会の進歩も、生活の向上も、考えてみれば大きく教育の成果如何にかかっているともいえるでしょう。平和も安全も人づくりにむすびついて教育の効果に強いつながりをもっているでしょう。学校場で考えられる教育の観点だけではなしに、家庭も社会も、あらゆる人間の共存している場が等しく教育の効果が芽ばえ、伸び、育ち、やがて花ひらく場に外ならないでしょう。



工作にいそしむ子供たち

10月15日号

第11回 教育週間

10月31日～11月6日

11月3日文化の日を中心に教育週間が毎年全国的に行なわれていますが、本年はその第11回目に当たります。この週間を記念して奈良市教育委員会では色々の教育週間によせた行事を行なっています。“母のつづる教育作文”や“ポスター”の募集もいたしました。

特に学校職員や一般市民の方々を対象として次のように講演会を開催いたしますから、皆様方お誘い合せの上ご参加下さい。

△教育講演会

11月2日(火)

午後2時30分から(約2時間)

会場 椿井小学校講堂

演題 “現代における教育の問題”

講師 神戸外国語大学

教授 河合 慎吾氏

なおこの講演会に先立って当日同じ会場において午後1時30分から永年勤続教職員表彰や教育研究論文受賞者表彰式が行なわれますのでお含みおき下さい。

“市民の歌”のレコードを貸し出します

昭和33年2月1日市制施行60周年を記念して一般公募作品の中から選定された“奈良市民のうた”のレコードを貸し出しますからご利用下さい。

町内の会合や、子供会のプログラムのうちに、又婦人会、青年会の集会のひとときに精々活用して下さい。

私たちの“市民の歌”ができるだけ広く親しまれますようお願いしています。

貸し出し期間はその都度一週間程度です。

お申し込みは奈良市教育委員会社会教育課内 視聴覚ライブラリーまで(電話②1313番)

市・県民税

第3期分

納期

10月15日～11月1日

今期は10月31日が日曜日に当たりますので、11月1日が納期限となっています

古都の秋“二題”

—奈良の鹿—

鹿の角きりは毎年今頃行なわれる古都にふさわしい年中行事であります。例年は一回行なわれ、角を切る鹿の頭数も160頭程度でありました。本年は頭数もふえて200頭以上となりましたので、10月9日(土)、10日(日)と1週間後の16日(土)、17日(日)の二回に行なわれています。

大仏さまや五重塔、三笠山とともに奈良と言えば鹿が連想されますが奈良を代表するものの一つとして観光客に親しまれている鹿は戦後僅かに79頭に減っていましたが、今日では1,000頭にふえてきました。

角きりが戦後に復活されて年中行事になったのは昭和28年の秋からでした。

鹿はまことにやさしい公園の人氣ものですが、時々危害を及ぼすことがあります。5、6月頃に赤ちゃんを産んだあとの母鹿は本能的に極めて警戒心が強くなり、見物客を寄せつけなくなります。

こんな時に何にも知らずにそばに



近寄りますと害を加えられます。又9月から11月にかけて発情期となりますので気が荒くなり、危害を及ぼすことがありますから気をつけて下さい。又鹿をいたわってやって下さい。

飛火野の鹿寄せは特に外国人観光客に喜ばれていますが、一般個人の方でも団体でも“奈良の鹿愛護会”電話②2388番へ申込み1回午前中3,000円、午後2,000円で応じてもらえます。

—正倉院展—

奈良の秋を飾る大きな一つの行事は正倉院展でしょう。この展覧会では全国の研究家や愛好家が参観に来られます。

正倉院展の会期は10月24日から11月7日までで午前9時から午後5時まで参観できます。

本年の出陳物は染織と服飾を主としたものであります。



奈良市民の歌

作詞者 大和高田市 橋本竹茂氏

(一)

わかくさの わかきはこりに
さるさわの みずはほほえむ
きみありて われありて
このまちに あふるるちから
はつらつと のぞみをもやし
せいしんの かぜをよほうよ

(二)

ひやくせんの はなをともして
やさしきは あしびのこみち
きみめぐり われめぐり
このまちに つきぬゆめあり
かつかつと かのしばかけて
かすがのの しかはいさむよ

(三)

ならやまの きぎのこずえに
つきしろは いまさしめぬ
きみはげみ われはげみ
このまちに あすはみちたり
あたたかく いのちゆすりて
てんびょうの かねはひびくよ

(四)

やえひらく ぼんだのさくら
まごころと ちせいはたを
きみかざす われかざす
このまちに ふかきあおぐも
はがらかに うでくみかわし
にっぽんの さちにつづかん



大型バスで

市営施設見学会(無料)

参加希望者は申し込んで下さい

【秘書課】

市営の各種施設や伸びてゆく奈良市の姿をひろく一般市民の方々に知っていただくためにこの見学会を催します。

●見学日 11月15日(月)

—小雨決行—

午前9時30分出発

●参加人員 140名

●見学場所

△木津水源地

△市営奈良球場

△一条高等学校

△学園前 鶴舞団地

△大安寺下水処理場

△奈良市消防本部

●参加資格

市内に住んでおられる成年者(お子様連れはご遠慮下さい)

奈良坂—帯解線の一部

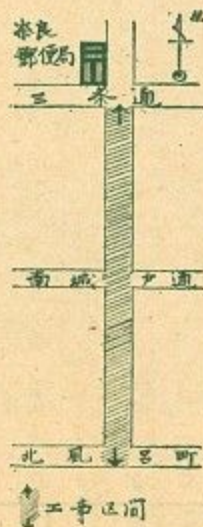
(三条通り「奈良郵便局」から北風呂町まで)

舗装工事を行ないます

【都市計画課】

ただいま下図のとおり幹線道路の舗装工事を進めています。通行にはご注意ください。

- 工事は来る12月25日までの予定です。
- 車道は片側通行となります。
- 歩道の通行は制限されませんが、工事中は危険のないようご注意下さるようご協力をお願いします。



●申し込みは

△往復はがきに「市営施設見学会参加希望」と書き、住所、氏名

年令、職業を明記して下さい。

△はがきは1人1枚にかぎりです

△宛先 奈良市役所秘書課広報係

排水設備工事の公認業者がきました

【下水道課】

奈良市の下水道事業区域内で排水設備(水洗便所を含みます)の工事を行なうことのできるのは次の19の公認業者にきました。

●公認業者 (登録順による)

昭和40年10月1日現在によるもの。

△新光水道工業株式会社

代表者 浜西 定夫

西木辻町 電話②7594番

△株式会社西前工業所

代表者 西前 春之

下清水町 電話②3036番

△日水工業株式会社

代表者 高天 安吉

三条町 電話②4709番

△大上設備工業所

代表者 大上 博通

興善院町 電話②3505番

△吉川工業株式会社

代表者 吉川 浩

南城戸町 電話②3803番

△長岡土建水道株式会社

代表者 長岡 末光

法蓮町 電話②3918番

△株式会社三企水道工業所

代表者 川崎伊三郎

法華寺中町 電話②4923番

△福井水道工業株式会社

代表者 福井音治郎

内侍原町 電話②6811番

△富雄設備株式会社

代表者 松田 重一

三碓町 電話⑤0563番

△中谷建設株式会社

代表者 中谷幾三郎

大森町 電話②0401番

△近畿水道工業所

代表者 山口 敏郎

尼ヶ辻町 電話②0906番

△野矢設備工業所

代表者 野矢 保

紀寺町 電話②9101番

△締切 11月5日

△団体申し込みの向がありまして、もすべて個人として取扱います

△参加者多数のときは抽せんにより参加者を決定します。抽せんにもれた方は次回の見学会(開催日時未定)に優先的に参加していただきます。

△参加決定並びに詳細については返信をもってお知らせいたします。

△三協工業株式会社

代表者 野矢 信行

油阪東町 電話②7857番

△鉸設備工業株式会社

代表者 鉸 武治

尼ヶ辻町 電話②4781番

△株式会社吉川機械製作所

代表者 吉川 潔

佐紀町 電話②8741番

△新田水道工業所

代表者 新田 忠夫

中辻南方町 電話②6267番

△有限会社川浪工業所

代表者 渡辺 一

二名町三松 電話⑤1221番

△小堀水道株式会社

代表者 村島 五雄

南魚屋北町 電話②7105番

10月8日現在によるもの

△大和設備工業所

代表者 衣笠 清虎

肘塚町 電話②8471番

奈良市では10月1日から下水道事業による排水設備の工事は上記の公認業者でなければできないことになりました。

市が設備した公共下水道によって直接し尿の処理ができる区域におきまして、「汲取り便所」を「水洗便所」に改造しようとされますときはこれらの工事業者に依頼されることになりますが、これらの業者では設計、施工はもちろん、市からの助成金(4000円)の交付申請など一切の手続を代行することになっております。

第11回日本学書展

日本学生、生徒、児童書道展覧会は昭和28年に第一回展を開催いたしました。今年には第12回目を迎えました。この日本学書展は文部省の主催する「日展」が成人を対象とした権威ある展覧会であるのに対して学生、生徒、児童を対象とした権威ある展覧会「在学生の日展」としての使命をになうものであります。とりわけ書道教育の伝統をほこり、全国筆墨の主産地たる奈良で毎年開催されていることはまことに意義あることといわなければなりません。

秋色いよいよ深みゆく頃となり、第12回日本学書展は次のように開催されますが、出品される生徒諸君の精進はもとより、展覧会開催のときは書道愛好家を始め教育関係者、一般市民の方々もすゝんでご鑑賞下さるようおすすめいたします。

主催

奈良県、奈良市、県・市教育委員会

出品締切

昭和40年10月20日

送り先

奈良市教育委員会内「日本学書

展事務局」(奈良市紀寺町、電話②1312番)

日本学書展

会場 奈良県公会堂

会期 11月17日～11月23日

奈良市心配ごと相談所は

みなさんとうちとけて
何でも相談いたします(無料)

この相談所は昭和35年に開設されたものですが、お役所式な所ではありません。畳敷きの部屋でうちとけて、みなさんと膝をまじえてどんな相談事でもお聞きしています。

これは厚生省の指示によるものですが、相談事の内容も最初のうちは生活苦や家庭不和の問題が多くありましたが、最近の傾向としては土地ブーム、或は宅地造成などから、住宅問題、財産問題がふえてきております。この相談所は悩みごとや、苦しい事情を吐き出さうといたし場所として、誰にも相談することのできない問題、たとえ他人に聞かれて恥かしいことや、理性では割切ついても感情が許さないというような事まで相談いたします。

問題はそんなに簡単に解決しなくても、この相談所に相談に来てよかった、肩の荷がおりた、心がすーっと晴れたと喜んで下さる方が大勢おられます。

奈良市ではこの相談所を中央心配ごと相談所としています。市内の各地区の婦人民生委員にはそれぞれの地区における相談を受付けていた

ております。

又社会福祉事務所、家庭裁判所、法務局人権擁護課、公共職業安定所などの各機関とも密接な連絡をとっています。

奈良市の心配ごと相談所が過去一
(期間 昭和39年4月～40年3月)

相談内容 月別	生活苦につ	家庭不和に	職業につ	児童の問	老人につ	住居につ	健康と医療	結婚につ	身の上問	求人に	財産問題に	その他	合計
4月	2	5	3	1	1		2	4	3		8		29
5月	2	6	2	1	1		4	4	2		8	1	31
6月	5	5	6	2	1	3	1	2	5		7	3	40
7月	3	8	3	1	1	6	4	4	2	1	3	1	37
8月	1	3	5	2	4	3	1	3		2	4		28
9月	2	4	1		1	7	4	2		1	6	2	30
10月	9	5	2		3	15	4	4	2		5	3	52
11月	5	4	1	1	3	2	1	5	1		3		26
12月	7	1	1			2	3	2	2	2	4		24
1月	3	3	3		2	4	2	2	3		5		27
2月	3	5	2			3	3	4	1		5	1	27
3月	1	8	5			8	2	7	4	2	5		42
合計	43	57	34	8	17	53	31	43	25	8	63	11	393

この393件のうち・解決したのは 250件・他の機関に連絡してひきついたものは 82件・目下相談中のものは 61件です。

ごみをみだりにすると
罰せられます

【清掃課】

ごみをみだりにすると罰せられますから、正式の手続をとってごみを出して下さい。

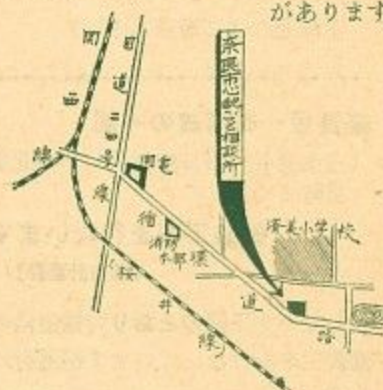
市からごみ取り車が廻っていないご家庭では、町内の自治会長さんに申し出て下さい。

自家用の車でごみをすてたい方は奈良市の焼却場へ運んで下さい。この焼却場では、ガラス、土砂なんでも無料で処分いたします。

奈良市焼却場では今まで午後3時まででしたが、これからは午後5時まで持込むことができます。

ただし土曜日は正午までで、日曜日、祝日は休みます。

年間に取扱った相談事の内容と受付件数を挙げますと下表の通りであります。なお1件の相談事につきましても何回も相談に来ていただくことがあります



▲相談所はこの奈良市立春日乳児保育園の二階になっています。